

2015年4月1日から2016年3月31日までに 予定手術を受けた患者様の診療情報の研究利用 についてのお知らせ

この度当院麻酔科では、「糖尿病患者におけるHbA1cと手術部位感染の関係について」の研究を行うことになりました。糖尿病の長期コントロールの指標となるHbA1cと手術部位感染の関係を、過去の診療情報をもとに検討するものです。

【研究課題名】

糖尿病患者におけるHbA1cと手術部位感染の関係について

【研究の目的及び意義】

手術部位感染とは手術を行った部位に起こる感染のことで、その発生には糖尿病が関係していると言われていています。手術直前の血糖コントロールが手術部位感染の予防に重要であることが近年強調されていますが、糖尿病の長期コントロールの指標となるHbA1cとの関連については結論が出ていません。この研究は、HbA1cと手術部位感染の関係を明らかにすることを目的とします。

【対象となる方及び対象期間】

2015年4月1日より2016年3月31日までに予定手術を受けた方の調査を行います。対象となるのは手術前のHbA1cが6.5%以上の方で、緊急手術、開胸手術、人工心肺を用いた心臓手術、大開腹手術、感染に対する手術、手術前から抗菌薬の投与をされていた方は除きます。調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（カルテから得られる診療情報、手術記録）のみです。

【個人情報の取り扱い】

本研究では患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報は取り扱いません。調査したデータは本研究の責任者のもとで厳重に管理され、外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

【問い合わせ先】

東京都済生会中央病院 麻酔科

担当 茂田宏恵

電話 03-3451-8211 (内線 3599)